

## 町内の福祉事業所を紹介します ～No.19～

**事業所名** 共同生活援助事業所 おきしんきょう（玻名城・仲座）

**サービス種類** 共同生活援助（グループホーム）

**所在地** グループホーム玻名城：八重瀬町字玻名城205-1 【定員】29名  
グループホーム仲座：八重瀬町字仲座605 【定員】5名

**対象** 身体・知的・精神に障害のある方

**主な活動** ・介護等のサービスを適切かつ効果的に行ない、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言を行います。  
・就労先その他関係機関との連絡その他の必要な日常生活上の支援を行い、居住者が安心して、快適な生活を過ごすことができるよう支援しています。

**利用者の声** ・世話人さんが作る料理は最高です。  
・利用者みんなフロアで食事をとるので家族的であたたかいです。  
・コロナでなかなか行事ができなかったが、徐々に緩和されて最近では忘年会をしました。

**開所日**：365日 **サービス提供時間**：24時間 **送迎**：相談  
**TEL**：（玻名城）098-998-9892 （仲座）098-998-2342

### グループホームとは…

障害のある方が少人数で、世話人などから生活や健康管理面でのサポートを受けながら、家庭的な環境と地域住民との交流の下、自立した生活を継続できるように共同生活を営むための施設（住居）です。

※障害福祉サービスを利用するには、「受給者証」が必要です。

お問い合わせ：社会福祉課 ☎ 098-998-9598



## 新「サポートノートえいぶる」をご存じでしょうか？

### Q 新「サポートノートえいぶる」とは？

新「サポートノート えいぶる」とは、主として発達障害のある方、もしくは発達の気になる方や、お子さんの成長や子育てなどに不安のある保護者の方を対象に、ご本人のプロフィールや支援の経過などの記録を一冊にまとめ、必要な情報をつづる、オリジナルファイルです。

### 新サポートノートえいぶる



### Q 新「サポートノートえいぶる」に何を書けばいいの？

- ・子どもの成長発達の記録
- ・生活の記録や入院、通院歴、療育、福祉制度などの利用状況 など。

### Q どのような利用ができるの？

- ・関係機関から提供された情報や子どもの状況を綴ることで、子どもの成長過程の振り返りができます。
- ・新「サポートノートえいぶる」に記入しておくことで、新たに福祉サービスを利用するとき、保護者や支援者同士で共通理解するときに利用できます。

### Q 新「サポートノートえいぶる」をすでに持っているけど、新たに記録用のシートが欲しい！

- ・ **沖縄県 障害福祉課 えいぶる** で検索すると、ダウンロードできます！

- 配布場所：八重瀬町役場 社会福祉課
- 配布時間：平日の午前8時30分～午後5時15分（昼食時間除く）
- 申請方法：窓口にてお声掛けください
- \*配布は無料ですが、数に限りがありますので、お早めにお問い合わせください。

お問い合わせ | 社会福祉課(障がい福祉班) | ☎098-998-9598

## 令和6年度 手話奉仕員養成講座

令和6年5月～令和7年2月  
(全39回)開催予定

八重瀬町では、聴覚障害者の生活や福祉制度について理解を深め、手話で日常会話ができることを目的に、南城市・南風原町と合同で手話奉仕員養成講座（入門編・基礎編）の開催を予定しております。

日時や会場など詳細につきましては、3月下旬頃に、**八重瀬町ホームページ**等で公開しますのでご確認ください。

お問い合わせ：社会福祉課  
☎098-998-9598

## 母子保健推進員を募集しています

### 母子保健推進員って？

地域の母子保健事業に携わり、日々活動しているボランティアです。「母推(ぼすい)さん」と呼ばれています。

### なにをするの？

乳幼児健診で身長・体重の計測や記録を行ったり、離乳食実習や産後ヨガ等で子守りのお手伝いをします。



### 任期は？

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで(更新可能)

### 私にもできるかな？

町内在住の子育て経験のある方(おおむね65歳まで)で育児や母子保健活動に関心のある方が対象です。  
※資格は不要です。

お問い合わせ：健康保険課(保健センター) ☎098-998-1149

月に1～2回程度、少しだけのお手伝いでも構いません。他のお仕事と両立されている母推さんもいらっしゃいます。充実した母子保健事業を実施し、八重瀬町で安心して子育てできるようにご協力をお願いいたします。



## 毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」

### 4月2日～4月8日までは「発達障害啓発週間」です

自閉症のことを知るための日をつくろうと、国連の会議で毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」に決め、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。いやし、希望、平穏を表す「青」をシンボルカラーにして、世界各地でイベントやライトアップが行われるようになりました。

日本でも自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っており、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間としています。

## 電話リレーサービスをご存じですか？

電話リレーサービスとは、聴覚障害者等と、きこえる人との会話を通訳オペレーターが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、24時間365日、電話で即時双方向につなぐサービスです。

### ■どんな時に使えるの？

- (1) **24時間365日対応**：深夜に子どもが高熱を出して、すぐ病院に連絡したいとき
- (2) **緊急通報**：夜間、家の外に怪しい人影があり助けを呼びたいとき
- (3) **双方向連絡**：仕事の問い合わせで、聴覚障害者の方と連絡をとりたいたとき

※登録方法や料金について詳しくは、

**総務省ホームページ 電話リレーサービス** をご覧ください。